

令和2年11月27日

先端技術を活用して離島の課題解決！日本初となる衛星通信を活用したドローン等複数機材による物流の実証実験を行います！

上天草市と民間企業等で構成する「上天草市湯島スマートアイランド推進協議会」は、国土交通省の「スマートアイランド推進実証調査業務」に先進的な取り組みとして全国10地域の中に採択され、この度「上天草市湯島スマートアイランド化モデル事業」の取り組みとして、12月3日に本市の有人離島・湯島において複数機材による物流の実証実験を行います。

実証当日は、飛行型ドローン、車両型ドローン、電動バイク及び電動カートにより湯島島内の荷物の輸送をします。なお、民間衛星通信を活用した飛行型ドローンによる物流実証は日本で初めてのものです。

また、当日は県内の離島で初めてのシェアオフィスとして注目されている湯島交流施設「シーグラス」を無料開放し、メディア向け体験会も行います。

1 実証実験概要

期日 令和2年12月3日（木）

集合 午前9時30分 宮津海遊公園（上天草市大矢野町中 11582-24）

解散 午後14時30分 江樋戸港

当日スケジュール

- ・宮津海遊公園にてブリーフィング／終了後、江樋戸港へ各自移動
- ・定期船にて江樋戸港から湯島へ移動
- ・飛行型ドローンによる物流実証
- ・車両型ドローンによる物流実証
- ・電動バイク及び電動カートによる物流実証
- ・湯島交流施設「シーグラス」メディア向け体験会
- ・定期船にて湯島漁港から江樋戸港へ移動／解散

※取材を希望される場合は、必ず事前にご連絡ください。当日の詳細なスケジュール等を別途ご案内いたします。

2 協議会の構成メンバー及び協力企業

- (1) 上天草市湯島スマートアイランド推進協議会構成員

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所、上天草市、合同会社湯島屋、湯島・夢の島づくり会（青年部）、インサス株式会社

(2) 技術協力企業

株式会社石川エナジーリサーチ、株式会社エアリアルワークス、マッハロック九州株式会社

3 上天草市湯島スマートアイランド化モデル事業について

限定的な物流手段、燃料費の高騰、災害等外部からのリスクやストレスに対応する力の不足といった湯島の抱える課題を、地域資源である再エネを活用した地産地消システムの構築、ドローンやeモビリティとAIを組み合わせた物流イノベーションで解決する持続可能なビジネスモデルの構築を目指すもの。

4 実証に要する機材

(1) 飛行型ドローン

(株)石川エナジーリサーチ製のビルドフライヤーを使用。業界初のマグネシウム合金製の軽量高耐久性の量産ドローンで全自動離着陸自動飛行が可能。ドローンの目視外飛行において必要とされる遠隔監視について、映像情報を民間通信衛星によって送信するのは日本初の取組みとなる。船以外の物流手段及び即時性のある物流手段として湯島・大矢野島間及び湯島島内での利用を検討する。

(2) 車両型ドローン

(株)エアリアルワークス製の AW-D4V2 (UGV) を使用。全長 900mm×全幅 500mm の電動自走式リモコン操縦車両で 150kg までの荷物の運搬が可能。車両通行不可の細い道路や坂道が多い湯島において、島内での物流手段として利用を検討する。

(3) 電動バイク、電動カート

電動バイクはヤマハ発動機(株)製の E-Vino を、電動カートは(株)セリオ製の遊歩スマイルおよび遊歩スキップ neo を使用。いずれも家庭用のコンセントで充電が可能。車両通行不可の細い道路や坂道が多い湯島において、島内での物流手段として利用を検討する。



(連絡先)

企画政策部企画政策課地方創生係

担当：課長 岡元、主事 飯野

電話：0964-26-5539

FAX：0964-56-4972